



「郷土のルーツを紐解き、風土の恵みを味わい、 暮らしの循環を学ぶ市内研修」

第5回目すこやか学級（教養講座）を8月20日（木）に開催しました。今回の講座は、千曲市の3箇所を巡り、地元の由緒ある文化財や実際の日常生活に欠かせないごみ処理施設などを訪問しました。

《千曲市武水別神社 神官松田邸》

一か所目は神官松田邸を訪れました。皆さん、松田邸の訪問を楽しみにしていた方も多く、学芸員の中島さんから、歴史にまつわる解説をしていただき、非日常的な時間を過ごすことができました。



貴重な資料の解説を聞く参加者の皆さん



戦国時代に殿様も泊まった斎館前にて集合写真

《イルフェボー ワイナリー》

次に、千曲市初のワイナリーのイルフェボーを訪問しました。ワインなどの試飲をさせていただき、地産地消の大切さについても学ばせていただくことができました。ソムリエの北山さんの解説をいただきながら、醸造設備をはじめブドウ畑も見学し、千曲市で特に力を入れている品種の“マルベック”を味見しました。



ワインができるまでの過程を解説いただきました



ワイン畑もじっくりと見学させていただきました

第5回 すこやか学級（教養講座） 市内研修

昼食は、『一松亭』でざるそばと天ぷらをいただきました。談笑もしながらゆったりとした時間を過ごすことができました。

《ちくま環境エネルギーセンター》

最後にちくま環境エネルギーセンターで、私たちの日常で必ず排出されるごみが、実際にどのように処分され、エネルギーへと変換されているのか見学をしました。日常生活を支えるごみ処理場を理解し学ぶことは、地域で暮らしていくうえで考えさせられるような、とても有意義な時間を過ごすことができました。



施設の概要を映像から学びました



施設内の見学コースを解説付きで学びます



施設を司る中央管理室を窓越しに見学



センター1階にて集合写真を撮影しました

今回は、清泉大学の学生の M さんがインターンで市内研修に参加いただき、開催結果の報告の一部も作成していただきました。彼女にとっても貴重な経験だったようです！大勢の方に参加いただきありがとうございました(^▽^)/